

花と緑の手づくり村 協同討議 と宿泊による現地ふるさと体験

主 宰 誰でもが参画できる“ふるさと未来創生会議” (FACEBOOK ページ)
講 師 近澤 可也 (パンデコン建築設計研究所・所長)
定 員 25名
曜 日・時間 土曜日 15時15分～16時45分
期 間 平成24年4月14日・5月12日～13日
回 数 2回 (1回だけの参加も可能です)
受 講 料 各1,500円(バス代・宿泊代等は別途)
会 場 淑徳大学池袋サテライト・キャンパス



[ポイント]

『花と緑の手づくり村構想』(1988)は、群馬県倉渕村(現在合併により高崎市)の自然を守り、活かす、外部資本等に頼らない自前の村づくりである。村営でクライנגルテン(市民農園)、ふれあい館(相間川温泉館)、貸しログハウス等を計画・建設した。農山村のたたずまい、日常生活、文化、伝統がそのまま観光資源である。

[講座内容]

1. 4月14日：自然・環境と共生 <花と緑の手づくり村>

過疎化対策の一環として、村長の依頼で「花と緑の農芸財団」と「パンデコン建築設計研究所」が構想・計画・設計した。ドイツのクライングルテンを現地視察し、シンポジウムを開催。村内からモデル地区を募り、その手法を導入し、農水省の助成金を得て建設した。

2. 5月12日(土)～13日(日)：フィールドワーク

共同体験：花と緑の手作り村体験(群馬県倉渕村)

“現地ふるさと体験”：クライングルテン視察、バーベキュー、源泉入湯、ふれあい館宿泊など……。当時の倉渕村企画課長・農政課長などを交えて、構想・計画・設計・建設までの詳細や苦労話を聞く。

日本の美しい自然景観、農村風景は、地球上に残された数少ない宝である。自然にかえり、土に親しみ、家族・友人とともに田園で過ごす農村ツーリズムの誕生である。

宿泊所：くらぶち相間川温泉「ふれあい館」ログハウス：この施設は私が計画・設計したものです。

〒370-3403 群馬県高崎市倉渕町水沼27 027-378-3834

<http://www12.ocn.ne.jp/~aimagawa/>

<http://aimagawa.town-j.com/>

【講師プロフィール】近澤 可也(ちかさわ かや)

石川県金沢市出身。地方公務員として石川県で務めたのち、受験のため上京。1961年、東京大学工学部建築学科卒業。東京第学数物系大学院建築学専攻『丹下健三研究室』修士課程卒業。1965年株式会社『パンデコン』設立。代表取締役就任し、『パンデコン建築設計研究所』開設。所長に就任。社団法人農山漁村文化協会『食と農の応援団』団員。一般社団法人『ふるさと未来研究所』代表理事。<<http://www.pandecon.com/>> <<http://www.facebook.com/kayachika/>>

***** 公開講座のお問い合わせは 下記 まで *****

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F「淑徳大学エクステンションセンター」

TEL 03-5979-7061 FAX 03-3988-7470 E-mail ext@ccb.shukutoku.ac.jp